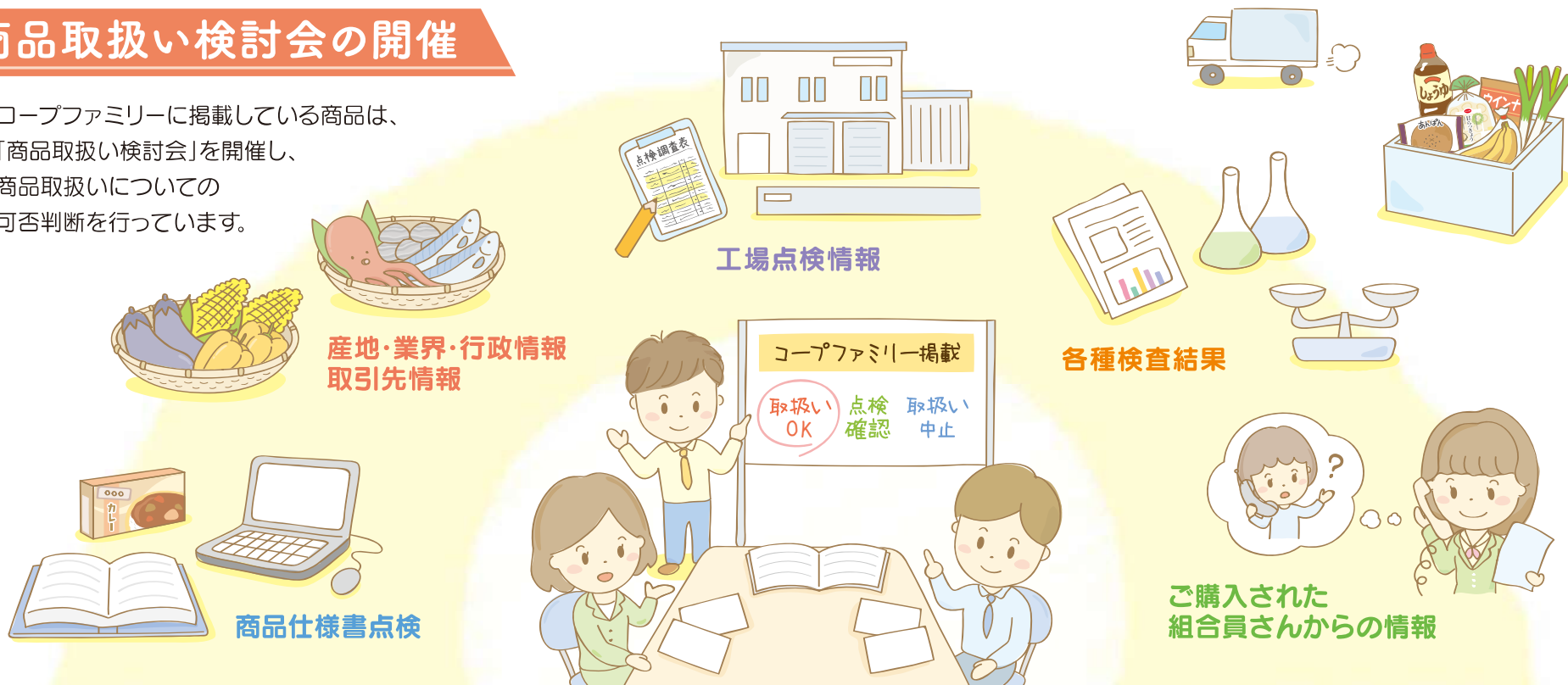


取扱い商品の産地や原料偽装、商品トラブルを未然に防ぐため、日々のさまざまな情報収集やそれらから予測される事柄などの把握に努めます。また、衛生管理や品質管理向上のため、取引先に対し啓発活動も行っています。

商品取扱い検討会の開催

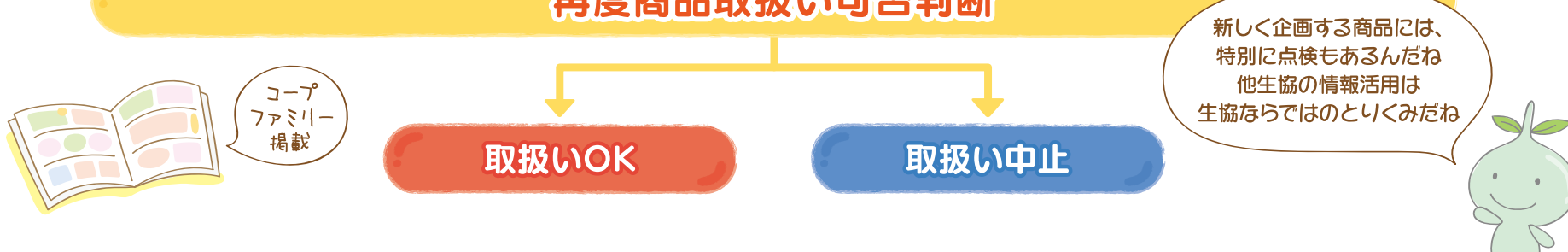
コープファミリーに掲載している商品は、「商品取扱い検討会」を開催し、商品取扱いについての可否判断を行っています。



5つのとりくみでの情報をもとに商品取扱い可否判断



再度商品取扱い可否判断



2016年度に行ったこと

- 商品取扱い検討会での確認数 **25,013品**
 - 確認・調査・検討要商品 **301品**
 - 内 企画中止 **5品**
- リスク予兆情報収集・発信数 **755品**
- 産地・原料点検確認数 (産地を冠している商品の原料確認) **1,307品**

- 安全確認の他の4つのとりくみ(商品仕様書管理、工場点検、商品検査、組合員お申し出対応)と連携し、取扱い商品の確認を行いました。
- 商品取扱い検討会を毎月開催し、原料確認や産地判別検査、また必要と判断した工場へは緊急工場点検を実施し、取扱い可否の判断を行いました。
- 取引先への啓発活動の一環として、「2016年度 コープ北陸品質管理研究会」を開催。企業の危機管理と食品防御をテーマに340人のご参加をいただきました。

2017年度に行うこと

- 新しくなったお問合せ管理システム(クイック・プロII)の情報を活用し、さらに商品取扱い確認のしつこさを強化します。
- 取引先に対する啓発活動を引続き実施。品質管理の向上、トラブル未然防止の一助として品質管理研究会を開催いたします。

